

第1学年 技術・家庭科（技術分野）

1. 学習のねらい

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ○ものづくり等に関する基礎的な知識と技術を習得し、2年次につながる能力と態度を育てる。 ○適切に材料やコンピュータを活用する能力と態度を育てる。
使用教材	教科書：教科書(東京書籍) 副教材：技術・家庭総合ノート（明治図書）、木工キット教材

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
① 生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や産業の中で用いられている技術に関心を持ち、技術が果たしている役割を考えようとしているか。 ・材用の種類やその特徴と使用法を知り、製作品の目的にあわせた材料を選択しようとしているか。 ・身の回りの生活を向上させるための製作品を構想することに関心を持ち、製作するために必要なことを図で表現しようとしているか。 ・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用しようとしているか。 ・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培する方法を検討しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（準備物、態度、発表など） ・ノートやプリント等の提出物 ・仲間への声かけの様子 ・材料を加工する様子
② 生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・技術と社会や環境とのかかわりについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して多様な方法を工夫したり創造したりして、技術について評価し活用する能力が備わっているか。 ・自らの工夫によって目的に応じ、適切な製作計画と材料を選び、ものを製作しているか。 ・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、種類、資材、育成期間などを比較・検討したうえで、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（準備物、態度、発表など） ・ノートやプリント等の提出物 ・仲間への声かけの様子 ・製作図や記述内容 ・製作したもの（材料を加工する様子も含む） ・定期テスト
③ 生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況に応じて、いろいろな道具を使いこなし、製作の見通しを立てながら正確に製作ができているか。 ・技術を活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。 ・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（動作、発言、作業内容など） ・ノートやプリント等の提出物 ・製作図や記述内容 ・製作したもの（材料を加工する様子も含む） ・定期テスト
④ 生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・技術が果たしている役割に関する知識を身につけ、技術のあり方について理解しているか。 ・製作品の構想の表示方法に関する知識を身につけ、設計時に必要な材料の性質や機能及び構造について理解しているか。 ・加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みについて理解し、様々な状況に応じて必要なものを作り出せる知識や理解を身につけているか。 ・育成する生物の各成長段階における肥料や飼料の給与量や方法をはじめとした管理作業、およびそれに必要な資材、用具、設備などの知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（動作、発言、作業内容など） ・ノートやプリント等の提出物 ・仲間への声かけの様子 ・製作したもの（材料を加工する様子も含む） ・定期テスト

3. 年間計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1年1学期	<p>○生活とものづくりの技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活を支える技術について考えよう。 工夫することのすばらしさを知ろう。 <p>○材料の特徴と加工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な材料の特徴を調べ、まとめよう。 様々な材料の加工法を調べよう。 <p>○設計</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計の進め方を知ろう。 機能・構造, 加工法を知ろう。 製図のきまりを知ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に発言する。【関】 ノートをきちんとまとめる。【関・知】 班で相談する時は積極的に意見を出し, 考えをまとめたり, 発表したりする。【関】 コンピュータの基本的な捜査について知る。【関・知】 材料の特徴などを理解する。【知】 材料の加工法を知る。【知】 等角図, キャビネット図を使い作図する。【技・工】 製図の小テスト【関・技】
1年2学期	<p>○製品の加工</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作の準備をしよう。 材料取りをしよう。 部品の加工をしよう。 それぞれの加工法で反省をしよう。 オリジナルの考えを作品に取り入れる。 <p>○組立と仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 組み立てをしよう。 仕上げをしよう。 製作全体でまとめをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に発言する。【関】 ノートをきちんとまとめる。【関・知】 安全に気をつけながら積極的に作業に取り組む。【関・技】 けがき, のこぎりびき, 切削, 穴あけなどの作業を正確にできる。【技】 作業段階ごとの課題に取り組み, 反省を行う。【関】 作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 作品例に独自のアイデアを取り入れる。【工】 部品を図面通りに組み立てできる。【技】 班で協力しながら, 作業を進める。【関・技】 作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 製作をふり返り, 反省やまとめ, 感想を用紙にまとめる。【関】 定期テスト【工・技・知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に発表しよう。 黒板に書かれたことや先生が話したことをノートにしっかりメモしよう。 指示を良く聞き, 道具や機械を適切に使用し, 積極的に作業に取り組もう。 お互い声を掛け合いながら, うまくいったことを共有したり困ったことをともに考え解決したりしていくなどして, グループで協力しながら作業を進めよう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> キャビネット図や等角図などでいろいろな図形を描いて, その使い方になれておこう。 身の回りにある道具や機械, 製品に興味を持って, 工夫されているところなど積極的に調べてみよう。 その日の内に学習した内容を, ノートで復習しておきましょう。